
北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 16 号(通巻 No.268)

2008 年 9 月 9 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2008 年 9 月 1 日(月) ~ 6 日(土)

調査海域および調査点 : 道東太平洋(北緯 41 度 20 分 ~ 42 度 30 分、東経 143 度 40 分 ~ 146 度 20 分)における 5 調査点(図 1、表 1)

調査方法 : 10 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82,182mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 5 調査点の表面水温は 17.0 ~ 20.2 (前年 16.4 ~ 22.4)、50m 層水温は 3.1 ~ 5.9 (前年 4.6 ~ 13.9)、100m 層水温は 1.9 ~ 3.5 (前年 1.7 ~ 11.4)でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は、4 調査点で 3 ~ 1,106 尾、合計 1,244 尾漁獲されました。CPUE は 248.8 尾/回で、前年の 196.2 尾/回を上回り、1994 年以降では 2005 年に次いで 2 番目に高い値を示しました。しかし、CPUE が最も高かった 2005 年の道東海域でのサバ類漁獲量が 3,324 トンに留まっていることから、資源水準は依然低い状態にあるものと思われます。魚体は体長 20 ~ 34cm 台で、30 ~ 31 cm 台が主体でした。

マイワシは、漁獲されませんでした。CPUE は 0.0 尾/回で、前年の 0.4 尾/回を下回り、1994 年以降では 1997 年・2001 年と同様に最も低い値を示しました。したがって、資源水準は依然非常に低い状態です。

カタクチイワシは、3 調査点で 3 ~ 20 尾、合計 34 尾漁獲されました。CPUE は 6.8 尾/回で、前年の 97.4 尾/回を下回り、1994 年以降では 1994 年に次いで 3 番目に低い値を示しました。魚体は体長 11.0 ~ 14.5cm 台で、13.5 cm 台が主体でした。

サンマは、4 調査点で 22 ~ 289 尾、合計 588 尾漁獲されました。CPUE は 117.6 尾/回で、前年の 229.4 尾/回を下回りましたが、1994 年以降では 1996 年に次ぐ中位の値でした。魚体は体長 15 ~ 34cm 台で、30 ~ 31 cm 台が主体で、21 cm 台と 26 cm 台に副モードがみられました。

スルメイカは、2 調査点で 41 ~ 556 尾、合計 597 尾漁獲されました。CPUE は 119.4 尾/回で、前年の 1.4 尾/回を大きく上回り、1994 年以降では 1996 年に次いで 2 番目に高い値でした。

アカイカは、4 調査点で 1 ~ 254 尾、合計 406 尾漁獲されました。CPUE は 81.2 尾/回で、前年の 126.4 尾/回を下回りましたが、1994 年以降では 2000 年に次ぐ中位の値でした。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222 , FAX : 0154-23-6225)

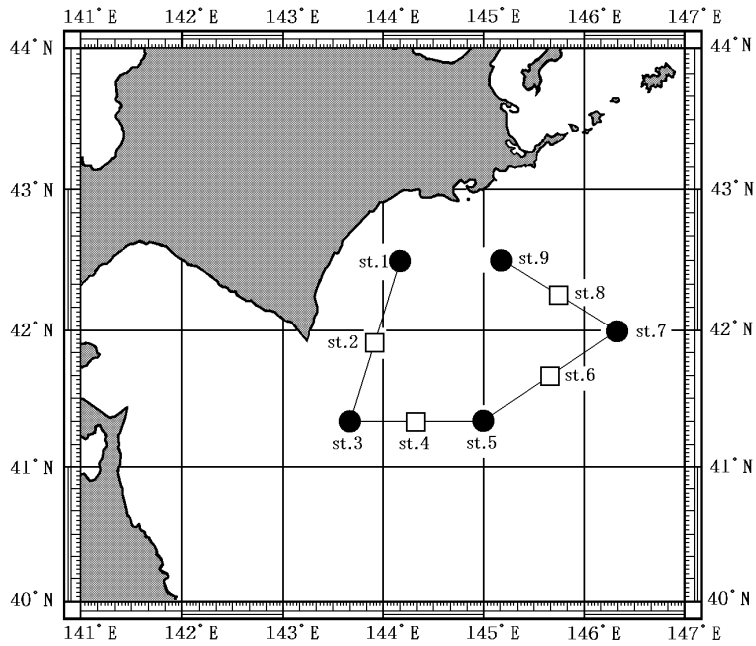


図1 漁獲試験調査点

表1 漁獲調査地点の水温および魚種別採集尾数

調査地点	st.1	st.3	st.5	st.7	st.9	合計
表面水温()	17.0	18.0	20.2	19.8	18.7	
50m水温()	5.9	3.2	5.4	4.5	3.1	
100m水温()	2.8	1.9	3.5	4.1	2.2	
サバ類	1,106	129	6		3	1,244
マイワシ						0
カクチイシ	11			20	3	34
サンマ	289	188		22	89	588
スルメイカ	41	556				597
アカイカ		1	97	254	54	406

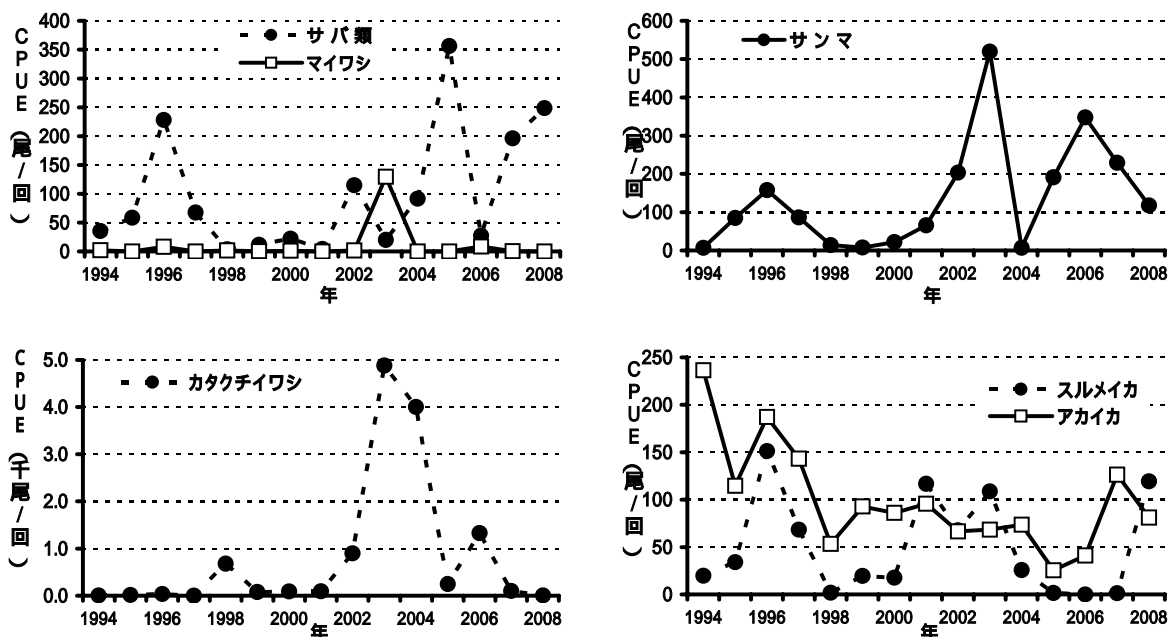


図2 流し網調査1回あたりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化